

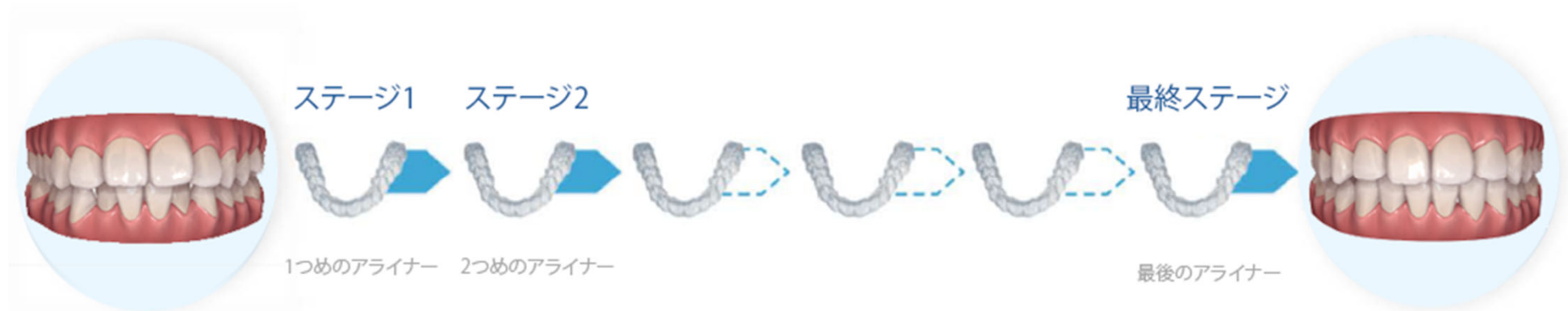
インビザラインの紹介

- 前歯部を対象とした目立ちにくい歯列矯正
- インビザラインシステムは、透明に近く、目立ちにくいマウスピース型の矯正装置（アライナー）によって、歯を正しい位置へ緩やかに少しずつ移動します。



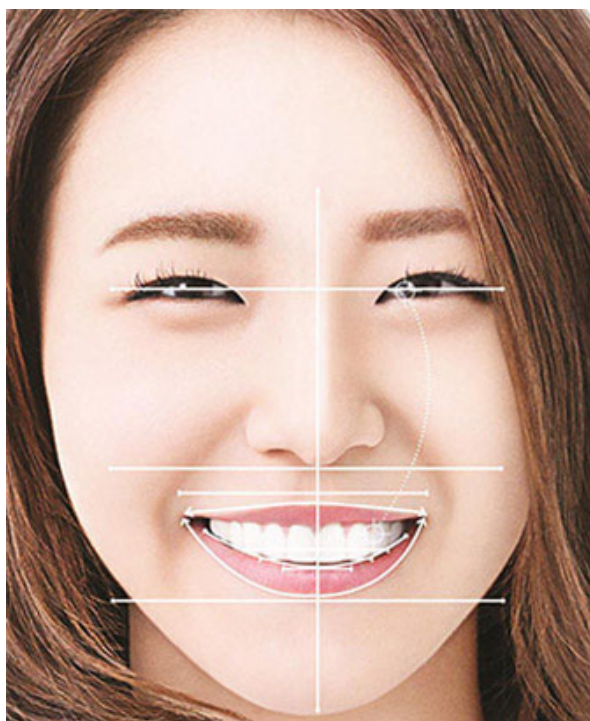
インビザラインの紹介

- 一人一人の治療計画に基づいて、精密にカスタムメイドされたマウスピースをご自宅で交換していくことにより、歯を徐々に動かします。



患者様により異なりますが、通常、治療期間は3から6ヶ月です。

インビザラインのメリット



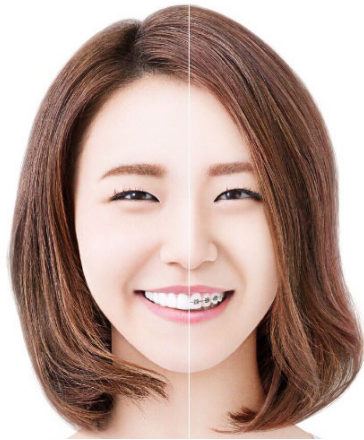
きれいな歯並びは理想の笑顔へ近づけます。



きれいな歯並びは、歯磨きがしやすくなり、歯と歯肉をより健康にし、口臭予防にもつながります。

インビザラインのメリット

透明に近く目立ちにくいため、
日常生活にも支障がでにくい。



取り外し可能で便利な矯正装置



インビザラインシステムのメリット
装着していることにほとんど気づかれません
仕事や旅行、学校の予定など忙しい日常生活に対応しやすい矯正装置です
その他の矯正装置よりも診察回数が少ない傾向にあります

- 食事の規制がなく、好きな食べ物を我慢する必要がありません
- いつでも簡単に歯のお手入れができ、口腔内を健康に保つことができます
- 日中でも必要に応じて取り外しできます

治療の流れ

Step1：カウンセリング

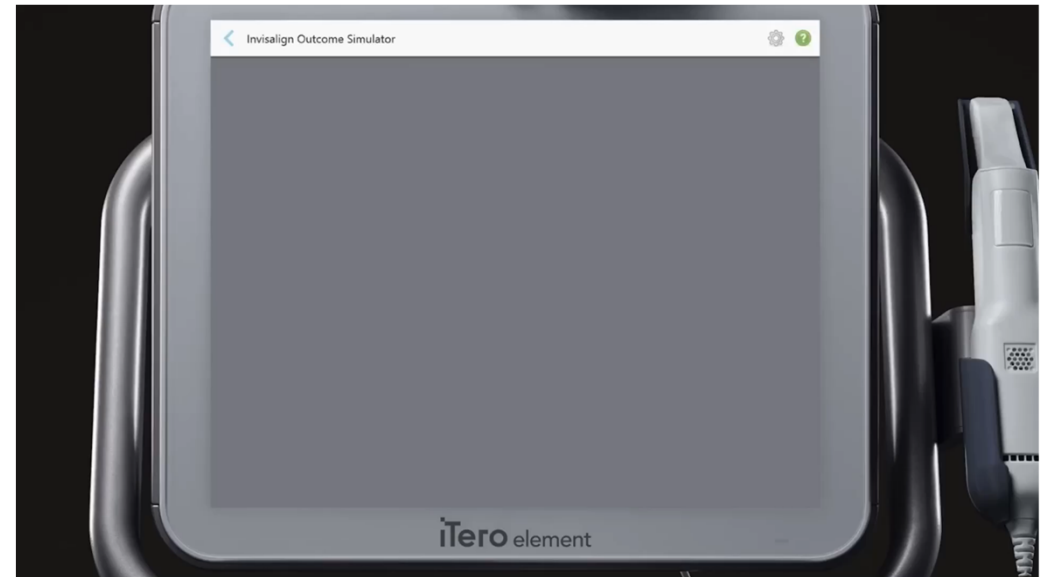
- 患者様のお悩みやご要望をお聞きます。インビザラインでの矯正治療が可能か、またメリットやデメリットについて説明します。インビザラインは大白歯と呼ばれる奥歯を動かさないマウスピース矯正です。追加アライナーが無ければ最大20週、約半年程度で治療が終わります。



治療の流れ

Step 2-1. 矯正シュミレーション（ここまでは無料です）

口腔内スキャナー iTero（アイテロ）を用いて歯のスキャンングを行い、その場でビフォーアフターの簡易シュミレーションを行います。ここで大まかな治療ゴールのお話をします。

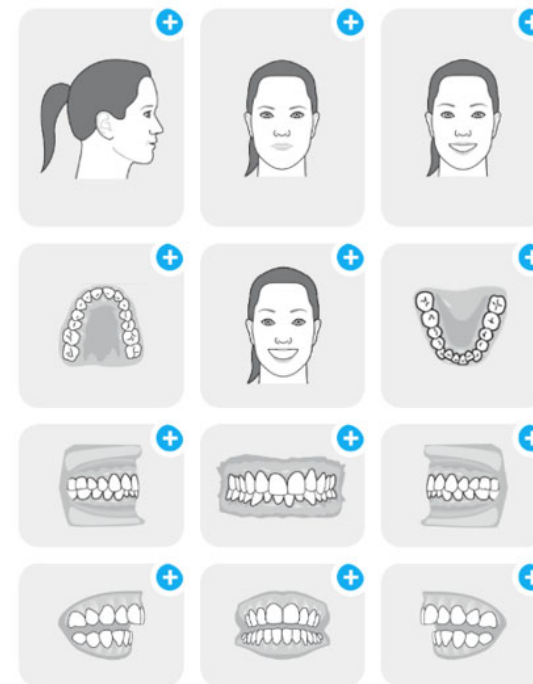


【動画】 簡易シュミレーション

治療の流れ

Step 2-2. 写真撮影

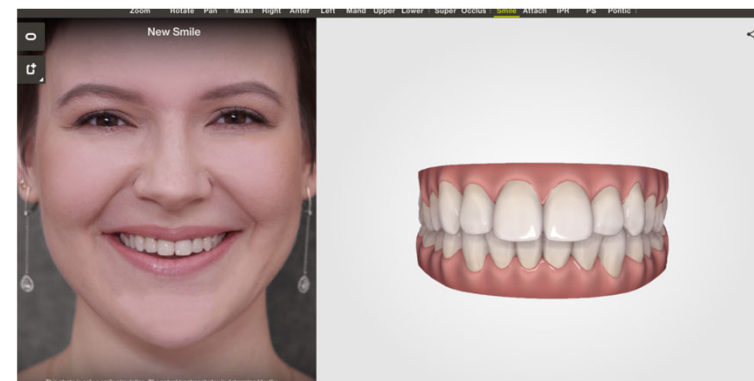
専用のアプリを用いて写真撮影を行います。



治療の流れ

Step 3. クリンチェック治療計画（精密診断）

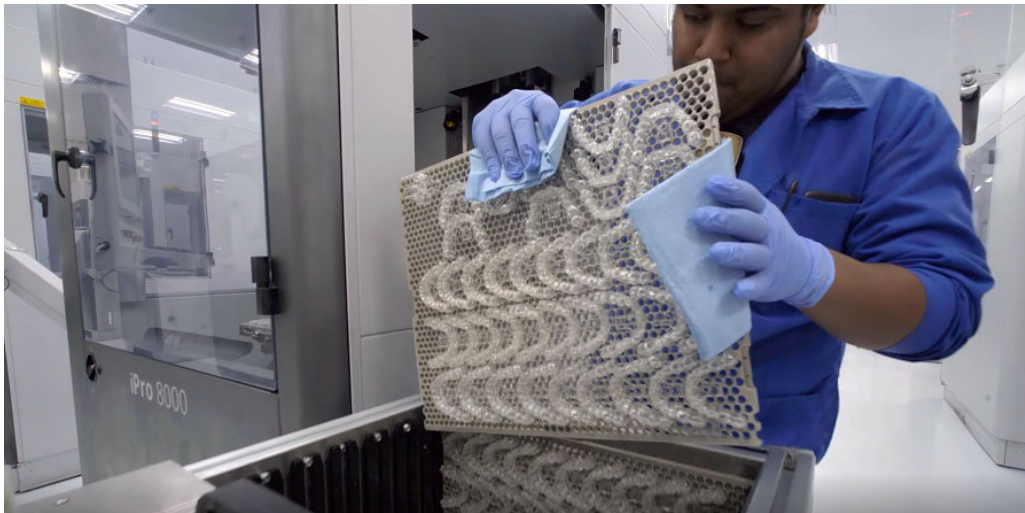
- クリンチェックは最終的な治療計画になります。この計画をもとに矯正装置（アライナー）が製作されます。
- 最終的な治療計画より、①治療期間、②アタッチメント（歯を動かすための突起）やIPR（歯と歯の間を削合）をどの歯に行うのかがわかります。また、この治療計画では3Dデータが患者様の写真と融合されます。最新技術により、治療前に治療ゴールの写真を確認をすることができます。これにより、患者様の歯がどのように綺麗に並んでいくのかイメージしやすくなります。



治療の流れ

Step 4. 矯正治療開始

最新の3Dプリント技術を用いてカスタムメイドされたアライナーが到着します。その後、いよいよ治療の開始です。



治療の流れ

- Step 5. 1ヶ月毎の定期チェック

1ヶ月ごとに御来院頂き計画どおりに歯が動いているかチェックします。場合によっては途中IPRを行い歯と歯の間を調整します。御来院時に次のマウスピース1ヶ月分をお渡しします。
※途中で気になることがあればいらしてください。



治療の流れ

- Step 6. 治療終了後の保定期間

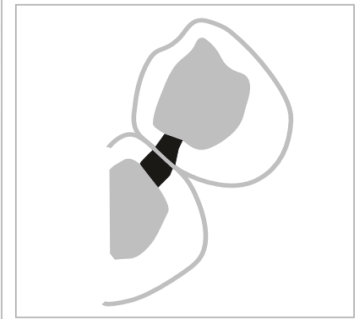
治療終了後は保定期間に入ります。リテーナー（保定装置）は、きれいにした歯並びを保定するための装置です。矯正治療後は、後戻りと言って歯が元の位置に戻ろうとする性質があります。きれいな歯並びを維持するにはリテーナーが必要となります。



料金（すべて税込）

診断料	20,000円
リテーナー	30,000円（1組）
治療費（上下顎両側）	料金はお問合せ下さい
治療費（どちらか片側）	料金はお問合せ下さい

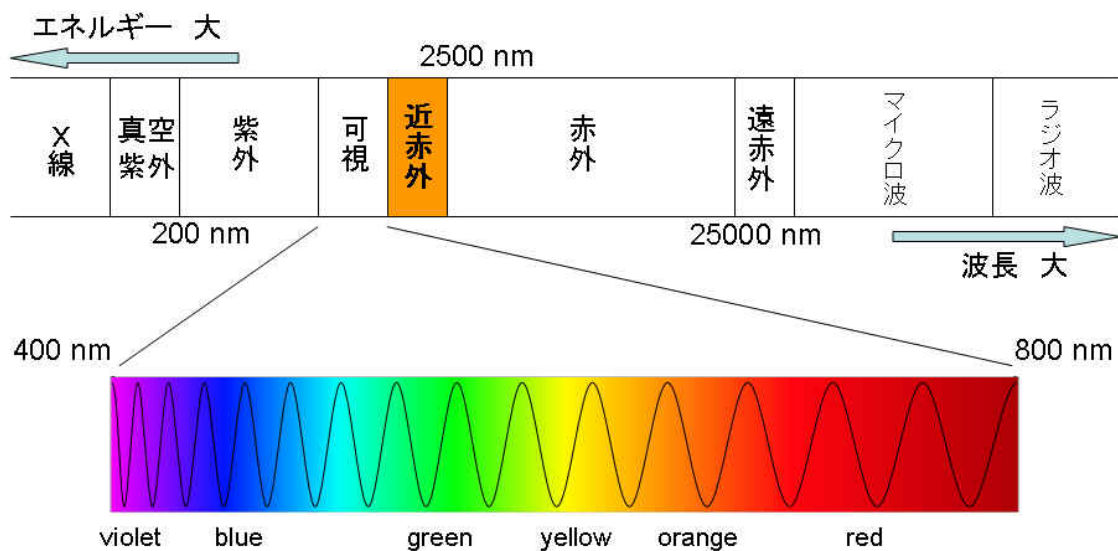
当院は最新のiTero Element 5Dを導入しています



5Dのメリット

- 放射線を使用せず、近赤外光で歯の内部を可視化することにより隣接面のむし歯チェックができます。
- 放射線を使用していないので被ばくの心配がありません。
- お子さんや妊婦さんも安心してむし歯チェックを受けていただけます。

近赤外光とは



近赤外光の特長

われわれの身のまわりにあるたいていの物質は、近赤外光をほとんど吸収しません。（厳密には少しは吸収します）

すなわち、近赤外光はたいていの物質を透過することになります。

近赤外光は、X線や紫外線などと違って、例えば人体に照射されてもほとんど悪影響はありません。安全な光なのです。

あまりよく知られていないかもしれませんが、実はわれわれの身近で、近赤外光はたくさん利用されています。

テレビやエアコンなどのリモコンや、CDプレーヤーといった光ファイバやワイヤレスデジタル通信などの光通信に用いられています。

歯牙の内部構造を
可視化

電離放射線を含
まない

隣接面う蝕に対し、
X線撮影と同程度の
感度がある*

*いくつかの臨床研究で報告がある



当院が印象採得をデジタル化する理由

- デジタル化により治療期間を短縮することができます。
- 患者さんへ最新技術を提供できるため、嘔吐反射や型取りの苦手な方への負担を軽減できます。
- 印象の確認が3D画面で直ぐに行えるため、再印象（再来院）を減少することが可能です。
- 従来の型取りと比べ印象精度が高いため、フィットの良い矯正装置をご提供することができます。



従来のシリコーン印象



iTeroスキャンニング



従来のシリコーン印象



iTeroスキャンニング